

平成30年 2月 2日(金) 発行



高大附高だより

編集 高崎商科大学附属高等学校父母の会
〒370-0803 高崎市大橋町237-1 TEL (027) 322-2827

ジャパネット杯 70 ALL JAPAN 70th Anniversary 春の高校バレー 第70回全日本バレーボール高等学校選手権大会



バレーボール部が2年連続 「春高バレー」に出場

大会2日目 2回戦	
福井工大福井	高崎商科大
大村工	神
生 穂	智高野
八王子実業	新大工機



このたび1月5日(金)東京体育館で行われました、本校バレーボール部の第70回全日本バレーボール高等学校選手権(春の高校バレー)出場に際しましては、絶大なるご支援・ご協力を賜り衷心より感謝申し上げます。

今回は2年連続の春高バレー出場でしたが、誠に残念ながら第2回戦福井工大福井高校(福井県代表)と対戦の末、第1セット17対25、第2セット13対25と、セットカウント0対2で敗退致しました。しかしながら強豪相手に善戦をし、次回に繋がる試合内容であったと思います。

これも部員の日頃の努力はもとより、これを支えて下さった関係者各位の心緩まる応援によるものと、深く感謝申し上げます。

今後ともどうぞ本校の教育・部活動に対しまして倍旧のご理解とご支援をいただきますようお願い申し上げます。

第81号
2018・2

挨拶



父母の会会長
桂川 淳

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。人生の中では様々な出会いと別れがありますが、まずはこうして無事に新しい年を迎えることができたと感謝します。

昨今、少子化が叫ばれる中において、五四五名もの新入生を迎えてスタートした今年度も残りわずかなりとなりました。この一年間の様々な行事も、会員の皆様のお力添えにより無事に行われましたことに厚くお礼申し上げます。今年度は二年に一度のスポーツ祭が高崎アリーナで行われましたが、バレーの試合でクラスの仲間たちと力を合わせて一つのボールを必死に追う姿は青春そのものでした。一年生にとっては高校生活最初

の一年をまもなく終えようとしていますが、新しい環境に慣れたでしょうか。二年生にとっては高校生活も折り返し地点を通過し最後の一年を迎え、いよいよ卒業後の進路を具体的に考える時期です。そして三年生は、既に進路が決まった人や最後の追い込みで頑張っている人など様々かと思えます。三年生は卒業後も、商大附高で身に付けた「親愛・礼節・整美」の精神を忘れずに物事に取り組んでいってください。失敗を恐れる必要はありません。失敗から学びが得られるのですから。是非それぞれの目標達成のために頑張ってください。

何もわからないまま会長をお引き受けしましたが、会員の皆様や校長先生はじめ教職員の皆様を支えられここまでやってこられたこと、心より感謝申し上げます。今後も「チーム商大附」の一員として、微力ながら応援していきたいと思っております。

最後になりましたが、皆様のご多幸と商大附高の益々の発展をお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

挨拶



校長
高橋 洋一

皆さん、新年あけましておめでとうございます。校長の高橋です。父母の会会員の皆様には、平素より本校の教育にご理解ご協力くださいます。今年度は、心より感謝申し上げます。犬は社会性があり、忠実な動物なので、人とのつきあひも古く、勤勉で努力家なことがあげられます。干支の特徴がその該当する年によく出ると言われるので、今年度は①人とのコミュニケーションが円滑になる②人とのつきあひを深めることができる、または人との縁がある③勉強に励むことができる等の年になるそうであります。良い事づくめであり、ぜひ、あやかりたいものであります。さて、昨年の二学期をふりかえってみますと、最大の学校行事は、何と言ってもスポーツ祭でした。

スポーツ祭は、高崎アリーナにて、台風二十一号が近づいている中、天候に影響されずに、十月十九日、二十日の二日間、つつがなく、無事に実施することができました。今回のスポーツ祭のスローガンは「勇往邁進（ゆうおうまいしん）」、「七番勝負」であり、併せて校訓の実践をお願いすると共に、使い方のマナーを守ったスポーツ祭であることもお願いしました。高校としては本校が初めて高崎アリーナを使用したわけですが、生徒の皆さんが、先生方の話をよく聞いて、使い方のマナーを守って、使ってくださいました。保護者の観客も二日間で約五百名が生徒の競技を見て、十分に楽しんでいたようでありました。生徒皆が真剣に積極的に参加し応援できていたならば、そして、高校時代の二〇一七年秋の、自分にしかない思い出となつたならば、それは正にスポーツ祭のスローガンである「勇往邁進、七番勝負」につながったと言えるでしょう。

また、部活動関係では、九月に行われた国体に、空手道部（第四位）、フェンシング部（第五位）、アーチェリー部が出場しました。

また、野球部は九月に行われた秋の県大会で三回戦ベスト十六に入ることが印象に残っています。また、バレーボール部は、十一月四日、春高バレー全国大会への出場権を獲得しました。決勝戦では最終の五セットまでもつれましたが、なんとか三対二で逃げ切り優勝しました。守りをしっかりと固めてその上で攻めてゆくチームであるという印象を受けました。十一月末に、「春高バレー」の垂れ幕が、第一校舎正面に飾られました。今年一月五日の春高バレー全国大会では、第二回戦からの登場で、インターハイ第四位の強豪、福井工大福井と対戦し、残念ながら二セットを先取され敗退致しましたが、バス十五台の大応援団を組み、応援し、声援が選手に届けられました。選手もそれを感じながらプレーできたと思います。選手の労をねぎらいたいと思います。また、十一月の県大会優勝以降県内の新聞やテレビ、ラジオ等でたびたび取材を受け、本校に元氣と活気を与えてくれたことに対して、選手、監督、コーチ、関係者に感謝すると共に、何より大勢の方々からいただいた物心両面からの応援に感

謝申しあげる次第です。

昨年十一月には、論文、作文の入賞が相次ぎました。第九回青雲塾・中曽根康弘賞論文募集(佳作二名)、第九回群馬県小中高生新聞感想コンクール(優秀賞一名)、国税庁主催の第五十六回税に関する高校生の作文募集(二作品入選)、県料理コンクールで家庭科部(県環境森林部長賞)、第十回熱血高校生販売甲子園(特別賞)等を受賞しました。校外の主催するコンテスト、コンクール等を通して、社会の様々な課題について、自ら考え、判断し、それを表現する活動が多数評価されたことは、近年稀な良い出来事であり、今後も続けてほしいと思います。

また、演劇部が、県高校芸術祭演劇部門県大会で優秀賞を受賞し関東大会への出場を決めました。また、国際文化コースの二年生が、

十一月中旬、明石杯高校生英語コンテストスピーチ第二部(海外滞在経験者等)で優勝し、十二月初旬に関東大会に出場しました。また、十一月下旬、吹奏楽部は、第三十二回定期演奏会を音楽センターで開催し観客を魅了しました。このように、文化部関係も大いに活

躍した二学期でした。

さて、昨年十月末に発覚した「座間の事件」では、群馬県の高校一年生が巻き込まれるという痛ましい出来事がありました。SNSを通じて出会ったようですが、生徒の皆さんには、自分だけは大丈夫と過信することなく、決して危険なことには近づかないようお願い致します。ネットで知り合った人と会うことは、命を危険にさらすことがありますので、絶対に避けていただきたい。お子さんには、何か悩みがあれば、ネットでは知り合った人ではなく、自分の身近な人に相談していただきたい。また、各家庭でもスマホの使い方のルールを決めて、ご指導ください。学校と家庭が同じ方向を向いて見守っていれば、必ずやお子さんを危険から守ることにつながるものと信じます。

父母の会会員の皆様には、どうぞ、引き続き本校の教育にご理解とご協力をくださいますようお願い申し上げますと共に、皆様一人一人のご健勝とご多幸、ご活躍を祈念申し上げます。平成三十年、新年のご挨拶とさせていただきます。

本部署員挨拶

「今年をふり返って」

副会長 蠟山 香代

新年明けましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。

早いものです、もうすぐ一年が終わろうとしています。生徒の皆さんも様々な経験と出会いを通して少しずつ成長できたのではないのでしょうか。私も、様々な行事に参加させていただきました。今年には真新しい高崎アリーナでスポーツ祭が開催され、子供たちの活き活きと楽しそうな姿を見ることができました。他校の様子を拝見する機会もあり、改めて商大附高の良い所、他校の参考とすべき所などにも、気づくことが出来ました。今年度残り僅かですが、これからも、学校生活の中でたくさんのお会いとともに成長していくことを心から楽しみにしています。結びに、商大附高の益々のご発展と、会員の皆様のご健康とご多幸を、心よりお祈り申し上げます。

副会長 生沼英治

今年度を振り返って印象に残っていることの一つは、七月二日に行われた学年懇談会（進路講演会）での講師の方のお話です。自分たちの時代とは受験のシステムや大学の状況がだいぶ違うということ、就職に有利がどうかということより子供が本当に好きな分野に進学することが大事なこと、また奨学金制度について学び、これから子供の進路を考えるにあたって大変参考になりました。

もう一つ印象に残っていることは、私立学校保護者会連合会の活動に参加したこと。そこで私学の歴史的な経緯を知り、改めて私学の意義と国や自治体から私学助成の必要性を認識することができ、とても有意義な機会でした。父母の会の活動を通して親も勉強させていただいている気がします。来年度もよろしく願っています。

副会長 小野里 誠

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

はじめての本部役員でしたが、会員の皆様のご協力のもと、父母の会総会、学級懇談会と無事終えることができました。また、研修旅行や県高P連、県私学連合会の行事等に参加させていただいたことはとても貴重な体験となりました。高崎アリーナで行われたスポーツ祭を見学した際には、各クラス一体感や迫力からくる、会場全体の盛り上がりを感じることができました。

今年度も残り僅かとなりましたが、残された行事もできる限り協力させていただきたいと思っております。最後になりましたが、皆様のご多幸と商大附高の益々の発展を心よりお祈り申し上げます。

書記 海老沼久之

謹んで新年のお祝いを申し上げます。早いもので皆様には三年間大変お世話になり、今年度も大変充実した経験と勉強をさせていただきました。役員、教職員、関係者の皆様にはこの場を借りて感謝申し上げます。

今年度は三年目の活動となりまして、娘にとりましても私にとりましても学校活動最後の年という

事で、進路に関しても特に関心が高い中での学年学級懇談会では、役員として関わられて大変参考になりました。

会議後の懇親会や納涼会、忘年会でも先生方や役員の皆様の熱い議論や相談事が交わされ、改めて父母の会に関わらせていただいた事への意義を感じた一年となりました。三年間の活動に感謝し、益々の会と商大附高のご活躍、ご発展を祈念申し上げます。

書記 儘田 文子

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。今年度も残り僅かとなりました。父母の会総会、

学年学級懇談会等を始めとする色々な行事を無事進められた事、会員の皆様のお陰と感謝申し上げます。今年度、役員としてお手伝いが出来たのかを考えた時、学校見学会やマナーアップ運動等多少では有りますが参加させて頂いた中で校長先生、諸先生方、役員の皆様、事務の方々の助けがあったからこそ活動が出来ている事を実感し子供と一緒に学べているうれしさを

感じる事に感謝の気持ちでいっぱい。残りわずかとなりましたが、出来る事を精一杯させて頂く事によって親も成長し、学校と関われる喜びを沢山の人も体験して欲しいと思います。まとまりのない内容となってしまった事をお詫び申し上げますと共に皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

会計 石綿綾子

明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、穏やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。今年度も学校見学会や県高P連総会など、いくつかの行事に参加させていただきました。過ぎてみれば早いもので、二人の子供がお世話になり合わせて六年、本部役員をさせていただきますますが、苦ではなく、楽しく続けてこれましたのも、教職員の皆様、会員の皆様、役員の皆様のご指導、ご協力あつてのことと感謝しております。残りわずかなります役員活動を楽しみながら、少しでも協力できればと思っております。最後に、商大附高の益々のご発展と、争いや災害が無く、穏やかな一年になることを、心よ

りお祈り申し上げます。

会計 岡田将彰

謹んで新年のお慶びを申し上げます。今年度も残りわずかととなりましたが、会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。昨年は八月に私学関東地区保護者会連合会埼玉大会に参加してきました。大会ではテレビドラマになった全盲の新井淑則先生を講師にお招きして多くのことを学んできました。印象に残ったのは「自分の決定に後悔しない」と話しておりました。人は日常生活の中で必ずやっていることの一つで、自分自身で「選択↓決定↓行動」をしているわけです。だから大切なことは、人のせいにはしないこと、自分の決定には後悔しないことだと話しておりました。私たちも子供の進路や将来のことについて、親子で話し合いつながりながら先生方にも相談をさせていただきます。人生の岐路を決めていきます。来年度も引き続き、家庭と学校が両輪で過ごすことが出来たらと思います。

最後に商大附高の益々の発展と会員の皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

三年生保護者より
旅立つ我が子へのメッセージ



小島美智子

早いものでもう卒業ですね。

本人が望んで入学したのではなかったのでも心配してしまいました。けれども時が経つにつれ娘から「この学校で良かった。」という言葉を聞いた時は安心したものです。何より大切な友達にも恵まれ幸せそうでした。

その後部活で県の役員という大役をさせて頂き、そこで得たものは大きかった様です。精神面はもちろん、視野も広がり、他校にたくさんの人脈が広がったことも大きな財産となったのではないかと思います。

そして新たな一步を踏み出す時が来ました。自分の望み通りの場所ではないかもしれませんが、でもあなたならまた何かを掴むこと出来るでしょう。かけがえのない何かを見つけないか出来るかも知れません。楽しんで下さい。ずっとずっと応援しています。最後に先生方、今までご尽力を

頂き心から感謝申し上げます。

小林潤子

今まで何通もの手紙をあなたから渡してもらったけれど、私が書いた事がないかもしれないと、原稿を前に戸惑っています。

学生時代の過ごし方は皆それぞれ、全て正解。でもバレーボール一つに集中した高校生活は、素晴らしいと思います。充実していたでしょう。この先の人生に必ず活かされる財産です。本人の努力は当然ですが、周囲に支えられ、沢山の事を経験し、学び、恵まれた環境でした。

商大附で春高に行く、勉強もやるから、と宣言した冬の夜を思い出すことがあります。決断した十五歳の娘、どうもありがとう。親も楽しませてくれました。春からは大学生。感謝する心と向上心を持ち続け、地道な努力を重ね、どうぞ人間力を磨いて下さい。信頼される人になってほしいです。

先生方、熱意と愛に溢れたご指導、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

中島康代

人生において大切な事、それは人との出会いだと思います。高校生活三年間で、先生方や友達と出会い、影響を受け、成長することができました。

親として、子育ての最終目標は経済的・精神的自立だと思います。そのためには、自分で情報を集め、自分で考えて、自分で判断し行動できる人になってほしいです。そして、好奇心を持ち続け、物事にチャレンジしてほしいです。

近年、地球温暖化が心配されています。私たち人間は、地球に生命(動植物など)と共存していることを忘れないでほしいです。これからも、様々な出会いや体験が、待ち受けていることでしょう。出会いを大切に。

「息子へ」 石井弘幸

高校卒業おめでとう。三年前の四月、ついこの間入学したばかり...と思っていたのに早

卒業。母を早くに亡くし、その淋しさを紛らわすかの様に剣道に打ち込みましたね。そして今の貴方が居るのは、沢山の支えが有ったからこそです。

行きたかった第一志望の大学には合格しなかったけれど、その悔しさから目を背けず、真正面から味わっていく事です。そうしたらその悔しさを必ずバネにする事が出来る。

人生色々な事が有る方が絶対面白い。自分にとっての志とは何か？答えが出ないかもしれませんが、それでいいのです。

それを問い続ける時間が大学生活だと私は思っています。

全ての人に感謝の気持ちを忘れずに!!
遠くからずっと貴方を見守っています。 父より

吉井美恵子

卒業おめでとう。

「高校は、絶対に商大附に入りたい!!」と娘の強い希望が叶い、憧れの制服を身に纏い、笑顔で入学して、三年がたちました。

思い起こせば、楽しかった事、苦しかった事がたくさんありまし

たね。部活動の音楽部では、伴奏担当、学園祭の実行委員、学年ボランティアなど、頑張っていた姿が思い出します。

壁にぶつかる度に、担任の先生をはじめ、先生方が本当に親身にご指導、相談にのって下さり、ここまでくれました。

今あるのは、周りの方のお陰と感謝して、これからの夢に向かって歩んで行って下さい。「継続は力なり」この言葉を送ります。

加藤有希枝

本当に、時の経つのは早いもので、もう卒業ですね。

「卒業おめでとう」
入学して、フェンシングをやるよと言われ、私を驚かせた娘は、3年間でみごとに、成長することができました。

一言も辛い、辞めたいと弱音を吐くことなく、頑張りました。

それは、フェンシングが楽しくなったこと、良き先生、良き先輩、良き仲間、に出逢えたおかげだと思います。

これから目指す道も、厳しく、険しい道だと思います。
決して、挫けず、諦めず、努力

と笑顔を忘れずに進んで下さい。

私は、いつでもあなたの味方です。そして、あなたを応援し続けます。あなたが言った、「商大に入っ

てフェンシングをして 本当に良かった」と言う一言は、高校生活

が充実した、貴重な時間だったと思います。

その気持ちを大切にしていって

高橋浩美

夢は「春の高校バレー」出場。

そんな夢を抱き入学した高校生活はバレー漬けの日々で、厳しい練習も同じ夢を追う仲間と共に汗を流し頑張っていましたね。辛い事、悔しい事もあったと思いますが、乗り越えられたのも仲間の支えがあったからだと思えます。

そんな中で自分の役割を知り成長していく姿を立派に感じ応援していました。

かけがえのない仲間と出会い過ごした日々は人生の宝となり、最後まで諦めず頑張り抜く事ができた3年間は本当に貴重です。関わっ

た全ての方への感謝の心を持って希望溢れる未来へと羽ばたいて下さい。

最後になりましたが、愛あるご指導で導いて下さった諸先生方に心より感謝申し上げます。
ひかる 卒業おめでとう。

米谷悦子

早いもので、卒業を迎える季節となりました。兄の入学と共に後を追って入学、甲子園!!を目指し野球生活へ突入、本当にお疲れ様

でした。今ではとても懐かしい想いでいっぱいです。田村先生、倉林先生、小幡先生、そして渡辺先生(監督)本当にお世話になりました。野球が終わり、これからの

人生が長く、大切”との監督の言葉が心に残っています。商大附卒業生として成長していく姿を楽しみに見守っていきたいと思います。

また父母として学校関係の方々と交流を持たせて頂けた事、心より感謝申し上げます。子供と共に私自身も多くの学の間となり、楽しい一時を過ごす事ができました。高崎商科大学付属高校！大好きです。卒業おめでとう”そして”ありがとう”！

中島 晶子

入学してから、もう三年が経つのですね。何か部活に入ろうと選んだのがフェンシング部。それから部活三昧の日々でしたね。毎日、本当によく頑張ったと思います。辞めたくなかった時も、口には出さなかった辛いこともたくさんあったと思います。でも、それを乗り越え真っ直ぐに頑張ったからこそ、インターハイに出場でき、国体の選手にも選んでもらえたのだと思います。そして、まさか大学でフェンシングを続けたいという気持ちになるとは考えもしなかったので、大変な日々の中に達成感や充実感、楽しさもあったのだと嬉しく思いました。大学に進学しても辛いことがたくさんあると思います。その時は、高校生活で成長させて下さった先生方、辛い時と一緒に乗り越えた仲間のことを思い出し感謝を忘れることなく、さらに成長してくれたらとても嬉しく思います。

私もこの三年間いろいろな大会に応援に行くことができ、一緒に熱くなったり、悔しがったり、泣いたり、とても楽しく幸せな時を過ごすことができました。ありがとう。これからもずっと応援しています。卒業おめでとう。

井川 花子

先ずは無事のご卒業おめでとうございます。大怪我や大病もなく今日まで過ごせた事を素直に寿ぎたく思います。

フランスへ十ヶ月の留学という不在期間のためか、高校三年間が大変短く感じられると同時に、この体験なしに娘の成長を語ることはできません。

しかし、残念ながら母たる私自身にフランス語の素養が皆無のため、帰国した娘の外国語がいかにか上達したものかさっぱり見当がつかみません。やばい。まあ向こうの友人とSNSでやり取りしていたり、この夏一ヶ月我が家に滞在していた留学先での友人との会話をみる分には、それなりに向上したみたいです。よかったです。

かなりマイペースな娘を温かくご教示下さった先生方に深く感謝いたします。

角田 みどり

我が家にとって初めての高校生

となった娘。身体も弱く、長距離通学のため、不安と緊張で迎えた入学式を思い出すと、今でも胸が熱くなります。

娘にとつての高校生活は、楽しい事だけではなく、悩み苦しんだ事もあったようですが、友人や先生方に支えられ、ここまで来る事ができました。感謝の気持ちでいっぱいです。

そんな娘が、三年生となり卒業

生活指導部より

「親子で危機管理意識を！」

北朝鮮のミサイル問題への対応で世界中が翻弄され、改めて各国の危機管理能力が問われています。振り返って国内に目を向けてみても、自動車の運転でも危険運転によるトラブルからの殺人事件、SNSが介在しての座間の殺人事件等、日常生活の中でごく普通の生活を送っている人が突然危険な状況に巻き込まれてしまっています。

我々大人でさえも、こうした危険から遠い所に身を置く事を考えさせられる事件でした。これから

を意識し始めると、一日一日を大切に過ごすとよく口にするようになります。学校生活が毎日楽しいと言いつつ、授業中にクラスを見渡し、ペンを持つ一瞬にふと幸せを感じる笑顔で教えてくれました。もうすぐで卒業を迎えますが、皆に支えられ過ごした高校生活を誇りに、これからも活躍して行って下さい。

ありがとうございました。

運転免許を取得して初心者運転手となる生徒、スマホが生活必需品となっている生徒にとって、こうした事件がどれだけ身近な危険として認識されているのかとても心配です。台風や地震等の自然災害への備えはしていますが、こうした人災ともいえる危険に対しては他人事として捉えがちです。大人も運転に関しては先輩としてのアドバイスはできますが、特にSNSに関しては生徒と一緒に考えていく事が重要です。ぜひ一度、親子でこうした危険回避について話し合いの機会を持っていただきたいと思えます。

(生徒指導主事 田沼稔夫)

平成 29 年度私立保護者連合会 学校見学会に参加して

平成 29 年 10 月 13 日 (金) 明和県央高等学校

- 見学会は初めに校長先生から学校概要、次に父母の会の会長さんから父母の会の活動についての説明があり、その後校内を案内していただき、最後に吹奏楽部の演奏会がありました。

明和県央高校では今年度からアメリカ UCLA での海外研修を実施しているそうです。また、県内の高校では珍しい給食のある高校です。案内していただいた食堂にはとてもいい匂いがしていました。

部活動ではラグビーや剣道やライフル部が強豪校とのことです。見学の際にも剣道場からは稽古の声と竹刀の音が響いていました。

設備面では、中庭に野外ステージがあり、文化祭の際には全校生徒を収容できるステージになるそうです。学校全体も穏やかに楽しい雰囲気伝わった見学会でした。(生沼 英治)

- 見学させて頂き感じたことは、建物の限られたスペースの中に講堂や体育館があることに驚きました。また、玄関前のような所に円形の広場があり生徒全員が座れて催し物が出来るとの事で、映像を拝見しましたが楽しそう、とても素敵な空間だと思いました。

校長先生のお話に「商大さんに比べてまだ歴史が浅いので、お手本にしてより良い学校にしていきたい」とお話をしていたのが印象的でした。(小島 美智子)

- 他校を見る、発表などを聞く等の体験を始めて参加した中で商大附の父母の会、桂川会長の発表も有り、はっきりとした、解りやすい内容の発表に他校と比べる訳でないですが自校の活動に誇りを感じられる、校長先生を始め先生方、事務の方々、との信頼関係を強く思える、そしてどこの学校も子供達の事を考えていると云うのが良くわかった、とても良い時間を過ごせたと参加でき親としても自分自身の為にもなったと感謝の気持ちになれました。(儘田 文子)

- 普段、他校内を見学できないので、今回は楽しい時間を過ごすことができました。それぞれの学校では、それぞれの特色を出して、学校運営、生徒指導をしていることを改めて感

じさせられました。部活動発表での吹奏楽部の演奏は生徒のみなさんが大変楽しく演奏していたのが印象に残りました。給食が運営されているのには、うらやましく感じました。

(古井戸 克司)

- 吹奏楽部や剣道部は良い成績を収めているので、練習を見ても活気があり強さを感じました。特に吹奏楽部の演奏には感動しました。他の学校を見学することで、私立高校の独自性や特色等見ることができたので、参加して良かったと思いました。(大島 昭一)

- 立地は、高崎の外れで交通の便は、スクールバスが出ていますが、少々大変かと感じました。そして、木材をふんだんに使用している校舎と先生方からは、暖かいアットホームな雰囲気を感じることができました。お昼ご飯は、高校では珍しい給食制度を取り入れており、忙しい母には大助かりですね。

役員の方々は、女性が多く、小中学校の頃、母メインで、子供達の為に一生懸命取り組んだPTA活動を思い出しました。(蠟山 香代)

- はじめて西毛地区高P連指導者研修会に参加させていただきました。やはり一番印象に残った事は発表された方々の学校愛がすばらしいと言う事でした。自校の良さが聞いている我々にも伝わってきました。講演の内容についても高女の校長先生の息子さんの証をまじえ(受験に親御さんが同伴する姿)親の自立の必要性を講師の方が幼少期から現在に至るまでをくわしく説明して下さり反省と納得する場面とで自身のあり方を整理できたとてもすばらしい講演でした参加させて頂き、ありがとうございました。(米谷 悦子)



スポーツ祭に参加して

平成29年10月19日、20日に高崎アリーナを会場とし、スポーツ祭が行われました。今回のテーマは「勇往邁進～七番勝負～」であり、7つの種目で各クラスが優勝を目指し競い合いました。



「スポーツ祭」を見学して

- 両日とも短い時間でしたが家庭とは違った表情を見せる子供の姿を見ることができてとても楽しかったです。前回までは浜川競技場で行われていたようですが今回から新しくできた高崎アリーナを使用し、雨の心配もなく、とても良かったと思います。アリーナの観覧席は全体がよく見えてとても快適でした。すぐに満車になってしまうかなと思っていた駐車場も思ったより広くてスムーズに出入りできました。実行委員の生徒さんや先生方は準備が大変だったと思います。おかげさまで楽しい体験ができました。子供たちにも思い出に残る「スポーツ祭」になったと思います。
(生沼 英治)

- 当日は生憎の雨でしたが、クラス着を揃えこの日を待ちわびていた生徒たちを見て、会場がアリーナで華やかだと強く思いました。また競技が首尾よく進ん



でいるのを見ながら生徒が素直なことも感心しました。反抗的な塊が見受けられず、スポーツで対抗している当然の様子に安定した学校生活を垣間見ることができたように思えます。目前の競技に釘付けになり無心で応援し愉快で爽快な思いを持って帰路につくことができたことは参観した報酬であったと思っており
(榎本 恭子)

- 仕事の合間に両日半日ずつ観戦させて頂きました。初めて会場となった高崎アリーナのメインアリーナですが、その広さは、想像以上でした。商大附高生1500余名の生徒達も余裕で配置でき、また競技スペースも充分でした。各クラスで趣向を凝らした揃いのTシャツも

楽しさを盛り上げていました。広い会場と大勢の生徒達の中、なんとか、息子や、部活の仲間、お世話になって



いる先生方を見付けようと、双眼鏡片手に観戦しました。その甲斐あって、弾ける様な笑顔や、生き生きと競技に参加している姿がよく見えました。ラストの先生方のエキシビションの長縄は生徒も保護者も一番盛り上がりかもしれません。天候に左右されず行事が出来た事も良かったと思いました。
(平井 薫)

- 1日目は、団体競技で高校生ならではの、迫力を感じ、観戦させて頂きました。2日目は、迫力プラス笑いあり、涙あり、クラスのチームワークを感じて、とても感動してしまいました。何より、学生の方が、とても体育祭を楽しんでいる姿がとても良かったと思いました。行き交う学生の方から、気持ち良い挨拶をしてくださいました。子供の成長を見て感じられる、機会を開催していただき、本当にありがとうございました。
(吉井美恵子)

- 共学になって初の「体育祭」が浜川陸上競技場で行われ、今年度は完成したばかりの高崎アリーナで「スポーツ祭」が行われました。球技内容や、進行など検討する余地があるように思いましたが、このような行事があることはとても良いと思います。子ども達が団結し、学年関係なく応援をしていたり好感が持て、とても楽しそうでした。今後、より良い「スポーツ祭」になることを期待しています。
(新井 佳恵)



進路指導部より

【進学状況】

今年度の、12月時点での入試結果は、国公立大学の公募推薦での合格者が9名。その内訳は、宇都宮大学1名、群馬大学4名、群馬県民健康科学大学2名、群馬県立女子大学1名、高崎経済大学1名となっております。昨年度も9名でしたが、一昨年の18名に比べると半減という状況です。2月25日からの本番に向けて計画的かつ地道に努力を続け、一人でも多くの生徒が合格の栄冠を勝ち取ってくださることを祈っております。一方、私立大学は138名、短期大学は46名、専門学校は91名が、現時点で合格しております。

さてご存知のように、平成32年度から、現行の「大学入試センター試験」に代わって「大学入学共通テスト」が実施されます。その特徴としては、英語に実用英語技能検定やGTEC、TEAP等の外部検定試験が導入されることや、これまで択一式問題だけだった国

語と数学とに記述式問題が導入されることが挙げられます。

現在は実施に向けたプレテストが行われており、本校でも11月に数学I・Aと日本史Bで参加しました。実施後に担当教科の教員から共通として聞こえてきたのが、「今までのセンターとは全く違う。」「あれは『数学』や『日本史』のテストではない。」という言葉です。

12月以降、今回のプレテストの問題等が大学入試センターのHPで開示されています。私は国語科の教員なので、国語の問題について述べさせていただきますと、話題の記述問題に目が行きがちですが、実は択一式問題の内容や傾向が今までのセンター試験と全く違うのです。

「大学入学共通テスト実

平成29年度 進路希望調査（進学志望）

		1学年 在籍 545			2学年 在籍 423			3学年 在籍 426		
		大学	短大	専門	大学	短大	専門	大学	短大	専門
文系	文・人文	3	0	0	13	0	0	13	0	0
	社会・国際	20	3	0	20	3	2	19	5	3
	法・政治	4	0	0	8	0	0	4	0	0
	教育	11	1	0	8	0	0	9	0	0
	経済・経営・商	32	6	2	26	7	2	53	4	6
	芸術・スポーツ	18	2	10	12	2	10	10	1	7
	家政・生活	1	0	1	8	0	8	3	0	0
	総合・情報・人間	11	0	3	7	1	2	5	3	2
	幼児教育・保育	7	9	10	7	9	1	2	15	5
	理容・美容	1	1	21	0	1	20	1	1	11
	医療・福祉	7	1	8	6	5	5	10	8	8
	その他	4	6	8	6	4	11	5	6	13
	未定	69	7	15	29	1	2	13	2	10
理系	理学・工学	16	2	3	15	0	3	24	0	0
	農学	0	0	0	0	0	0	2	0	0
	医・歯・薬	10	0	0	5	0	0	7	0	2
	教育	4	1	0	6	0	0	2	1	0
	医療（歯科・臨床）	6	0	1	8	0	3	4	1	8
	看護・保健	11	1	9	14	0	14	14	0	17
	動物	4	1	9	5	0	8	4	0	2
	その他	4	0	3	2	1	5	4	1	1
	未定	22	1	5	14	0	2	6	0	2
未定	37	1	11	18	3	10	6	0	0	
合計	302	43	119	237	37	108	220	48	97	

「施方針」によりまずと、例えば、国語における「評価すべき能力・問題類型等」では、「多様な文章とともに、図表などを含めて、複数の情報を統合し構造化して考えをまとめたり、その過程や結果について、相手が正確に理解できるような根拠に基づいて論述したりする思考力・判断力・表現力等を評価する。」とあり、素材選定の例として、従来の論説等に加え、会議等の記録、実務的な文章（取扱説明書等）、契約書や法令の条文、統計資料（図表・グラフ等）を用いた説明等が挙げられています。

と、ここまでお読みいただいて、「関係あるのは今の中学生からだし、うちの子は関係ないのでは？」とお思いの方がいらっしゃるかも知れません。

ところが、大学入試改革はすでに始まっているのです。一例をあげますと、すでに多くの大学が英語の外部検定試験を導入しています。例えば、県内でも共愛学園前橋国際大学と高崎健康福祉大学とが、都内では早稲田大学や青山学院大学をはじめとする数多くの大学が、外部検定試験をすでに導入しているのです。実用英検では、

準2級から準1級まで。大学によっては、英検が使えずTEAPのみ、というところも散見されます。更

にその方法も、出願条件とするところ・英語の受験を免除して満点等に換算するところ・英語を受験させて換算点と比較し、その良い方を採用するところ等、様々です。

さらに、記述問題導入の流れは、これまで入試を択一式問題のみで実施していた地方大学にまで及んでいます。県内でも、関東学園大学が今年度の入試から、スカラシッブ入試・一般入試の「国語総合」で、記述入試問題を導入することが決まっています。また、国公立大学の個別学力試験でも、新テストに類した出題が見られるようになっていきます。

そこで必要とされるのが、全ての教科の基礎となる「国語力」と、情報分析能力です。授業や日々の勉強を通じて国語力を磨き、年々変化し複雑化する受験情報を収集・分析し、来るべき受験に備えていただきたいと思えます。「彼を知り己を知れば百戦殆うからず。（知己、百戦不殆。）」の精神で、進路現実に向け努力することを望みます。（進学指導専事 深澤 功）

【就職状況】

群馬県労働局では平成29年9月末現在における来春の高校新卒者の求人、求職内定状況を発表しました。求人倍率は、前年同期を0・38ポイント上回る2・45倍となり平成6年3月卒業生以来高い水準になりました。産業別にみてもほとんどの産業で増加しています。求人数は、前年同期（6770人）に比べ16・7%増の7902人となり、一方、求人者数は前年同期3266人に比べ1・1%減の3229人となりました。

就職内定者数は高求人倍率を反映し、前年同期2128人に比べ10・5%増の2351人となり、就職内定率も前年同期65・2%に比べ、7・6ポイント上回る72・8%となり、平成9年3月卒業生以来23年ぶりに70%を越えました。

現場でも実際に手ごたえのある状況となっています。求人は7月1日以降学校に配布されますが、昨年同様9月に入っても途絶えることがありませんでした。その後9月16日以降から始まる就職試験に臨み今年度は9割の生徒が内定を

頂きました。しかし残念ながら採用となった生徒たちは、10月以降の「がんばれ高校生」に参加した多くの企業に、ほとんどの生徒が応募し、内定を頂くことができました。

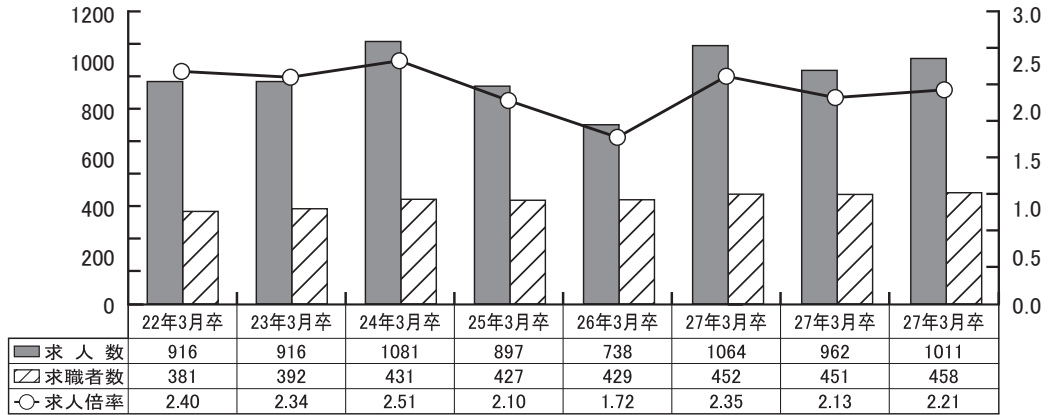
職種で見ると、やはり高校生は製造業が多く、サービス業、小売業が好調で今年は事務採用も目立ちました。

自分に合った職種をさがし、さらに具体的な会社を選び出すことは決して簡単なことではありません。しかも決められた時間内に決断しなければならぬわけですから。そのためにも、就職指導部では、早い時期から就職希望者に具体的な内容の指導を行って行きたいと思っています。

高校生の就職の選考は一人一社制で、9月中旬から始まります。

10月1日以降は一人二社までの応募が可能となります。先ほども述べましたが、今年はこの時期でも、多くの企業の募集がありましたが、しかし12月の声を聞くと、さすがに求人は少なくなり、売り手市場とは言われていますが、厳しくなっているのが現実です。就職するにあたって、迷ったり、

求人数・求職者数・求人倍率の推移（高崎市内分）



平成 29 年度 父母の会年間行事

月	日	曜日	事業内容(会場等)
4	8	土	入学式(群馬音楽センター)
5	12	金	本部役員会
	20	土	平成29年度総会・本部役員引継ぎ会(暢神荘)
	26	金	高崎地区PTA会長及び管理職歓迎会(エテルナ高崎)
	30	火	県私立小・中・学高等学校保護者会連合会総会(ラシーネ)
6	9・10	金・土	県高P連総会(一泊:伊香保 ホテル「天坊」)
	15	木	第1回マナーアップ運動
	18	日	3年学年学級懇談会、役員反省会
	25	日	1年学年学級懇談会、役員反省会
7	2	日	2年学年学級懇談会、役員反省会
	15	土	欠席者対象学年学級懇談会
8	18	金	後援会合同夏季懇親会(ヴィラ・デ・マリアージュ)
9	15	金	第2回マナーアップ運動
10	13	金	西毛地区高P連指導者研究集会(サンピア高崎)
		金	県私立小・中・高保護者会連合会理事会・学校見学会(明和県央)
		金	本校(学校見学会における開催校以外の「父母の会」活動状況報告担当校)
11	10	金	県高P連指導者研究集会(前橋テルサ)
	15	水	第3回マナーアップ運動
	21	火	私学振興全国大会(ホテルメルパルク東京)
	23	木	後援会・同窓会合同研修旅行(横浜中華街・横須賀軍港クルーズ)
1	12	金	後援会・同窓会役員合同新年会(ヴィラ・デ・マリアージュ)
	25	木	平成29年度群馬県私立学振興大会(ラシーネ)
2	9	金	3年学年学級役員反省会(ヴィラ・デ・マリアージュ)
	16	金	県私立小・中・高保護者会連合会理事会・学校見学会(常磐高校)
3	1	木	第69回卒業式(群馬音楽センター)
	16	金	1・2年学年学級役員合同反省会(ヴィラ・デ・マリアージュ)

どんな職種が自分に向いているのか悩んだりしている時は、是非、就職指導部に来てもらえれば、必ず希望の企業が見つかるまでサポートし

ますし、同時に模擬面接、試験対策も指導します。どうぞ遠慮なく相談してください。

最後に、企業に採用されるためには、あらためて、言葉づかいや身だしなみなどを注意してほしいと思います。また、体調管理、言

葉遣い、マナーや常識についても同様です。企業にとって一番重要視される「コミュニケーションの取り方」についても普段から身に付けておくことが、大切です。

(職業指導主事 水上 浩)

平成28年度 決算について

学校法人 高崎商科大学

平成28年度決算につきましては、平成29年5月29日開催の理事会において承認され、同日開催の評議員会に報告されました。

現在、本法人の経営状態は、日本私立学校振興・共済事業団が示す「定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分」に照らし合わせた場合、昨年度に引き続き過去15年間「Aランクの状態」(正常状態)に位置しており、財政基盤はきわめて安定していると言えます。今後ともこの健全な経営状態を維持するよう、より魅力ある学園とするため教育研究内容の充実や施設設備の整備に引き続き努力して参ります。

なお、学校法人会計基準の改正に伴い、平成27年度決算より財務関係書類が一部変更されています。また、財務関係書類については情報公開を行っており、学校法人高崎商科大学ホームページ及び各設置学校内の所定の場所で閲覧することができます。

① 資金収支計算書の状況

資金収支計算書は、その年度の諸活動に対応する資金の収入と支出のほか、その年度内において現実に収納し、また支払った資金の収入と支出について、その期末を明らかにする書類です。

平成28年度の資金収支状況について、収入は前年度繰越支払資金の2,116,341千円を加え、合計で4,865,149千円となり、手数料収入、補助金収入、前受金収入及びその他の収入等で増加しましたが、学生生徒等納

付金収入、寄付金収入、付随事業・収益事業収入等が減少したことで、予算に対しては23,071千円の減少となりました。

一方、支出については、人件費支出、教育研究経費支出、管理経費支出、施設関係支出及び設備関係支出等が減少したことで、翌年度繰越支払資金は予算に対し86,751千円増加して、2,223,235千円となり、昨年からは106,894千円の増加となりました。

資金収支計算書

(単位：円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	1,386,832,470	1,385,886,720	945,750
手数料収入	51,900,000	52,125,028	△ 225,028
寄付金収入	69,913,200	68,804,495	1,108,705
補助金収入	656,231,502	707,377,442	△ 51,145,940
資産売却収入	208,807,410	209,429,410	△ 622,000
付随事業・収益事業収入	15,659,000	15,535,785	123,215
受取利息・配当金収入	22,807,834	23,053,705	△ 245,871
雑収入	100,486,729	104,602,540	△ 4,115,811
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	226,895,000	251,919,500	△ 25,024,500
その他の収入	258,610,392	286,740,887	△ 28,130,495
資金収入調整勘定	△ 226,264,000	△ 356,667,865	130,403,865
前年度繰越支払資金	2,116,341,947	2,116,341,947	
収入の部 合 計	4,888,221,484	4,865,149,594	23,071,890
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,378,576,454	1,375,511,633	3,064,821
教育研究経費支出	511,687,818	483,601,670	28,086,148
管理経費支出	180,942,349	171,912,880	9,029,469
借入金等利息支出	3,970,945	3,970,945	0
借入金等返済支出	61,210,000	61,210,000	0
施設関係支出	294,735,366	291,962,566	2,772,800
設備関係支出	79,987,708	76,589,838	3,397,870
資産運用支出	205,560,000	205,560,000	0
その他の支出	31,532,268	31,532,268	0
(予備費)	22,413,679		22,413,679
資金支出調整勘定	△ 18,878,696	△ 59,937,733	41,059,037
翌年度繰越支払資金	2,136,483,593	2,223,235,527	△ 86,751,934
支出の部 合 計	4,888,221,484	4,865,149,594	23,071,890

② 事業活動収支計算書の状況

事業活動収支計算書は、その年度の「教育活動」、「教育活動以外の経常的な活動」及び「前記二つ以外の活動」に対応する事業活動収入及び事業活動支出の内容を明らかにするとともに、基本金組入額を控除したその年度の諸活動に対応する全ての事業活動収入及び事業活動支出の均衡状態を明らかにして、学校法人の経営状況を把握するための書類です。

平成28年度の事業活動収入は、予算に対して57,836千円増の2,370,719千円、事業活動支出は予算に対して69,497千円減の2,278,886千円で、基本金組入前当年度収支差額は91,833千円の収入超過となりました。また、施設・設備の整備や育英基金等の基本金組入額

の合計が290,094千円となり、基本金組入後の当年度収支差額は198,261千円の支出超過となりました。

これにより、前年度繰越収支差額の853,860千円を加え、翌年度繰越収支差額は655,599千円となりました。

また、単年度の収支状況の指標となる経常収支差額（＝経常収入（教育活動収入計＋教育活動外収入計）－経常支出（教育活動支出計＋教育活動外支出計））は、88,548千円の収入超過となり、経営判断指標となる経常収支差額比率（経常収支差額／経常収入）も「正常状態」の値となっています。

事業活動収支計算書

(単位：円)

科 目		予 算	決 算	差 異	
教育活動収支	収入の部	学生生徒等納付金	1,386,832,470	1,385,886,720	945,750
		手数料	51,900,000	52,125,028	△ 225,028
		寄付金	33,065,000	33,551,319	△ 486,319
		経常費等補助金	638,837,502	689,983,442	△ 51,145,940
		付随事業収入	15,659,000	15,535,785	123,215
	雑収入	100,486,729	104,602,540	△ 4,115,811	
	教育活動収入計	2,226,780,701	2,281,684,834	△ 54,904,133	
	支出の部	人件費	1,352,827,204	1,348,750,783	4,076,421
		教育研究経費	699,139,119	672,599,050	26,540,069
		管理経費	189,253,241	180,220,164	9,033,077
徴収不能額等		10,649,000	10,649,000	0	
教育活動支出計		2,251,868,564	2,212,218,997	39,649,567	
教育活動収支差額		△ 25,087,863	69,465,837	△ 94,553,700	
教育活動外収支	収入の部	受取利息・配当金	22,807,834	23,053,705	△ 245,871
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	22,807,834	23,053,705	△ 245,871
	支出の部	借入金等利息	3,970,945	3,970,945	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	3,970,945	3,970,945	0
教育活動外収支差額		18,836,889	19,082,760	△ 245,871	
経常収支差額		△ 6,250,974	88,548,597	△ 94,799,571	
特別収支	収入の部	資産売却差額	8,852,407	9,834,407	△ 982,000
		その他の特別収入	54,442,200	56,146,899	△ 1,704,699
		特別収入計	63,294,607	65,981,306	△ 2,686,699
	支出の部	資産処分差額	62,696,492	62,696,492	0
		その他の特別支出	0	0	0
		特別支出計	62,696,492	62,696,492	0
特別収支差額		598,115	3,284,814	△ 2,686,699	
〔予備費〕		29,848,409		29,848,409	
基本金組入前当年度収支差額		△ 35,501,268	91,833,411	△ 127,334,679	
基本金組入額合計		△ 306,762,808	△ 290,094,352	△ 16,668,456	
当年度収支差額		△ 342,264,076	△ 198,260,941	△ 144,003,135	
前年度繰越収支差額		853,860,741	853,860,741	0	
基本金取崩額		0	0	0	
翌年度繰越収支差額		511,596,665	655,599,800	△ 144,003,135	
事業活動収入計		2,312,883,142	2,370,719,845	△ 57,836,703	
事業活動支出計		2,348,384,410	2,278,886,434	69,497,976	

- ・教育活動収支は、教育研究活動に係る収入・支出を区分したものです。
- ・教育活動外収支は、経常的な収支の内、財務活動に係る収入・支出を区分したものです。
- ・特別収支は、資産の売却・処分、施設設備寄付金（含む現物寄付）、施設・設備に対する補助金等の臨時的な収入・支出を区分したものです。

③ 貸借対照表の状況

貸借対照表は、会計年度末における資産、負債、基本金及び繰越収支差額を把握し、学校法人の財政状態を表わす書類です。

平成28年度末の総資産は、前年度末に比較して62,688千円の増加となり、本年度末10,790,285千円となりました。

資産の部では、「有形固定資産」が大学・短大の新校舎建設やネットワーク機器の更新、アクティブラーニング教室の整備等、高校の並棟キャンパスサッカーグラウンド照明設備の更新やPCの更新等、また幼稚園のPC更新や園児送迎バスの入替え等により資産が増加したことで114,667千円の増加、「特定資産」は退職金の引当資産の取崩しや周年事業資産の取崩しにより61,172千円の減少、「その他の固定資産」が大学・短大・高校の名業務システムの減価償却等により2,205千円減少し、「固定資産」全体では、本年度末8,410,009千円となり、前年度より51,289千円の増加となりました。また、「流動資産」は、現金預金等が増加した

ことから、本年度末2,380,276千円となり、前年度に比べ11,398千円増加しました。

負債の部は、「固定負債」が715,335千円で、日本私立学校振興・共済事業団からの長期借入金等の減少により前年度に比べ86,785千円減少し、「流動負債」は415,018千円で、前年度に比べ57,640千円増加しました。この結果、総負債は、前年度末に比較して29,145千円の減少となり、本年度末1,130,353千円となりました。

また、純資産の部は、基本金が第1号、第3号の基本金で組入れが行われた結果、合計で9,004,332千円となり、前年度に比べ290,094千円増加しました。繰越収支差額は198,260千円減少し、前年度末の繰越収支差額853,860千円と合わせて、本年度末の繰越収支差額は655,599千円となりました。

これらの結果、純資産の合計は9,659,931千円となり、対前年度で91,833千円増加しました。

貸借対照表

(単位：円)

Table with 4 columns: 資産の部/負債の部/純資産の部, 科目, 本年度末, 前年度末, 増減. Rows include 固定資産, 流動資産, 負債, 基本金, etc.

編集後記

生徒は高校3年間の学習によって、自分が社会に貢献できる人材になるために努力しています。今年度、高崎経済大学地域政策学部... 募集文に応募し入選しました。祭りを盛り上げるため期間限定の地域通貨を発行し、県産豚肉料理の素晴らしさをアピールして地元食文化の理解を深めることを提案したのです。レストラン経営者や住民が地域活性化の為に奉仕することが重要だと提案したので、経営学の父ピーター・ドラッカーは、

「経営者は自分の利益を考慮するだけでは経営に失敗する。」と述べています。「経営する企業のサービスや商品が人々のニーズに対応し、人々を幸せにすることを目的にしなければなりません。利益が得られない場合でも、人々を幸せにする目的の経営はしばらくすると事業の成功へと変化するものだ。目先の利益の追求は、失敗するものだ。」と述べています。つまり、奉仕の哲学を持って社会に貢献せよと述べているのです。

本校の校訓は、「親愛」「礼節」「整美」です。「親愛」は、「感謝と奉仕の実践に努めることを求めています。校訓の実践は、ドラッカーの経営哲学と共通していると思います。最後に、「商大附高だより81号」に寄稿頂きましたご父母の皆様及び先生方に感謝申し上げます。(牧口)

広報編集担当者

- 榎本 恭子 (F2-1) 儘田 文子 (F2-3) 関 由紀子 (F2-9) 渡邊 亮治 (F2-10) 岡田 将彰 (S2-2)

2学期以降県外大会出場(予定)部活動・結果報告



クラブ名	大会名(会場)	期日	成績
空手道部	国民体育大会(愛媛)	10/7~9	個人組手 4位 F3-9 矢菅海斗、ベスト16 S1-3 関塚佳代
	平成28年度関東高等学校空手道選抜大会(神奈川)	1/20~21	男子団体組手 北ブロック 3位 男子個人組手(軽量級) 北ブロック 2位 F2-8 小倉大和 女子団体形 北ブロック 2位 女子団体組手 北ブロック 3位 女子個人形 北ブロック 2位 F2-7 江口優花 女子個人組手(重量級) 北ブロック 優勝 F2-6 竹内優希 女子個人組手(中量級) 北ブロック 出場 F2-9 小峯杏子
アーチェリー部	国民体育大会(愛媛)	10/2~4	少年女子 出場 F3-3 曾山莉愛、個人7位入賞 F3-5 堀江絵梨花
	平成29年度関東高等学校アーチェリー選抜大会(千葉)	11/4~5	男子個人 17位 F3-5 市川和樹、33位 F2-4 水野颯、F2-6 満島一輝、57位 F2-5 木暮陸人、F3-6 石井智也 女子個人 4位 F2-9 高井美桜、17位 F2-1 室井麻佑、F2-5 今井奈那、F3-5 鈴木真子、F3-5 堀江絵梨花
	平成29年度全国高等学校アーチェリー選抜大会(静岡)	3/26~28	出場予定 男子個人 F2-5 木暮陸人 女子個人 F2-9 高井美桜
フェンシング部	北関東フェンシング選手権大会(上三川町体育センター)	9/23~24	男子個人フルール 3位 F3-6 江藤和博 女子個人フルール 3位 F2-8 設楽ゆひな 女子個人サーブル 2位 F1-9 岡田梨良 女子団体サーブル 優勝 F3-6 樺澤凧紗、F3-7 加藤有紗、F2-8 設楽ゆひな、F1-9 岡田梨良
	国民体育大会(伊予三島体育館)	10/1~4	少年女子 5位 群馬県 F3-7 加藤有紗、F2-8 設楽ゆひな、F1-9 岡田梨良
	全日本フェンシング選手権大会・個人(駒沢オリンピック公園体育館)	12/7~10	男子個人フルール 71位 F3-6 江藤和博 女子個人フルール 50位 F2-8 設楽ゆひな 女子個人サーブル 49位 F1-9 岡田梨良
	全日本フェンシング選手権大会・団体(越前市AW-1スポーツアリーナ)	12/15~16	女子団体サーブル F2-8 設楽ゆひな、F1-9 岡田梨良、 出場 S1-1 清水愛、塚越愛菜
	関東高等学校選抜フェンシング大会(水戸市総合運動公園)	1/19~21	女子団体フルール F2-8 設楽ゆひな、F1-9 岡田梨良、 優勝 F1-10 阿藤零、S1-1 清水愛、塚越愛菜 女子団体サーブル F2-8 設楽ゆひな、F1-5 須藤未羽、F1-9 岡田梨良 3位 S1-1 清水愛、塚越愛菜
バレーボール部	第70回春の高校バレー全日本バレーボール高等学校選手権大会(東京体育館)	1/4~8	2回戦敗退 (VS 福井工業大学付属高等学校)
ペープアート部	第1回カラーガード・マーチングパーカッション全国	1/28	高等学校部門 出場 F2-5 永井香帆、沼田季与花、F2-9 齋藤ななみ、F2-10 櫻澤優花、松田安莉、稲川亜美、生沼華奈、S2-1 藤原萌々香、F1-4 坂口愛依莉、F1-6 笠原香穂、多胡葵、山口雛里、F1-10 牧口瑠夏、F1-12 山田茉優、S1-2 井上愛望、遠藤花純
バトントワリング部	第52回バトントワリング関東大会	10/14	高等学校の部/バトン編成 銀賞 F3-1 山下凜子、F3-3 並木楓恋、F3-7 矢島沙季、清水麻羽、F3-9 梅田菜里、小倉寧々、F3-10 富岡菜音、F3-11 山本弓桜、F2-4 伊藤楓果、F2-5 下山雪月花、F1-1 内田華凧、森美弥子、F1-5 新井菜月、大矢桃子、F1-6 若松さくら、F1-7 入澤朱里、F1-10 吉田愛理、F1-12 松本望来、S1-3 高橋玲香
放送部	第64回NHK杯高校放送コンテスト全国大会(東京)	7/24~26	テレビドキュメント部門 F3-3 飯塚彩、F3-4 宮崎大空 ラジオドキュメント部門 F2-1 山内瑠衣、F2-3 儘田亜依香、浅野菜月輝、S2-1 高橋海吏、S2-2 内堀翔太、永島康太郎、高橋駿
	第41回全国総合文化祭宮城総文全国大会	8/2~5	ビデオメッセージ部門 F3-3 飯塚彩、F3-4 宮崎大空、S3-2 宮下優有 オーディオピクチャー部門 S2-2 内堀翔太、永島康太郎、高橋駿
囲碁部	第33回関東地区高等学校囲碁選手権大会	H30年 1/20	女子団体戦 出場 F2-2 野口智恵、F2-4 高橋里奈、F1-9 萩原佑奎